

フィンランドにおけるサーミの現状

フィンランドにおけるサーミの現状

小内 透 編著

はしがき

本報告書は、フィンランドにおける先住民族・サーミの現状を明らかにしたもので、小内透編著『調査と社会理論・研究報告書 29 ノルウェーとスウェーデンのサーミの現状』(2013年)、小内透編著『調査と社会理論・研究報告書 32 ノルウェー・フィンマルク地方におけるサーミの現状』(2015年)の続編にあたる。

世界の先住民族は、各国の近代化の過程で、同化と抑圧の対象となった。1970年代以降、先住民族の復権に向けた取り組みが進められ、長い議論の末、「先住民族の権利に関する国際連合宣言」が、2007年9月、国連総会において賛成多数により採択された。これをふまえ、国連は一昨年まで第二次「世界の先住民の国際の10年」(2005～2014年)を設定し、世界各国で宣言を実質的なものとするための取り組みを求めてきた。日本を含め、現在でもその状況に変わりはない。

このような状況の下で、私たちの研究グループは、2012年にアイヌ民族の復権をめぐる議論の基礎資料を得るために、アイヌ民族の現状と課題、比較対象としての北欧の先住民族・サーミの現状と課題に関する4年間の社会学的な実証研究のプロジェクトを立ち上げた。プロジェクトの3年目にあたる2014年にフィンランドのサーミに関する調査研究とアイヌの人々が多く居住する北海道白糠町における調査研究、プロジェクト4年目の2015年にフィンランドの継続調査を行った。本報告書は、このうち2014年8月および2015年8月に行ったフィンランド・イナリ地方およびヘルシンキでの調査結果をもとにしたものである。2014年に実施した白糠町におけるアイヌ調査については、すでに昨年『調査と社会理論』研究報告書33として刊行済みである。

本報告書のもとになったフィンランド調査では、多くの方々にお世話になった。2014年のヒアリング調査に協力して頂いたサーミ議会、サヨス (Sajos・サーミ関連諸機関の集合施設)、サーミ語教材課、サーミ若者協会、イナリ小中学校、サーミ教育専門学校 (Sami Education Institute)、サーミ博物館 (SIIDA)、イナリ言語の巣、サーミ・ラジオ・テレビ (YLE)、2015年のヒアリング調査に協力して頂いた都市サーミ協会・言語の巣、イナリ・サーミ語協会、スコルト・サーミ文化財団、スコルト言語の巣、2015年のアンケート調査に協力して頂いたサーミ教育専門学校、イナリ小中学校、イナリ言語の巣、スコルト・サーミ言語の巣、ヘルシンキ言語の巣の皆様に厚くお礼を申し上げる。また、通訳を引き受けてくださった喜納政和さんと匝瑳佐知子さん、調査票の翻訳をして頂いた山川亜古さんにこの場を借りて感謝の意を表する。

(付記) 本報告書は、平成24～27年度の日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究A）（研究課題「先住民族の労働・生活・意識の変容と政策課題に関する実証的研究」、研究代表者・小内透、課題番号24243055）にもとづく研究成果である。

なお、本研究は、北海道大学アイヌ・先住民研究センターの第2期社会調査プロジェクトとしても位置づけられている。

目 次

はしがき

序 章 フィンランド・サーミの概況と歴史	小内 透
はじめに	1
第1節 フィンランドとサーミの概況	2
第2節 フィンランドとサーミの歴史	6
第1章 フィンランドのサーミ議会の現状と課題	新藤 慶
はじめに	17
第1節 サーミ議会の設立	17
第2節 サーミ議会の組織	18
第3節 選挙	20
第4節 サーミ議会と諸機関との連携	21
第5節 サーミ青少年協会 (Young Sami Association)	22
第6節 サーミ議会が抱える課題	23
第2章 都市サーミ協会とサーミ関連組織の特徴	新藤こずえ
はじめに	27
第1節 都市サーミ協会	27
第2節 イナリ・サーミ語協会	30
第3節 スコルト・サーミ文化財団	33
第4節 各組織の特徴と今後の課題	35
第3章 フィンランドにおける言語の巣の現状と課題	野崎 剛毅
はじめに	39
第1節 言語の巣の概要	39
第2節 言語の巣の保育と保育者の意識	46
第3節 言語の巣を利用する保護者の意識	52
第4節 まとめ	61
第4章 基礎学校におけるサーミの教育の現状と課題	上山浩次郎・野崎 剛毅
はじめに	63
第1節 フィンランドの教育制度	63
第2節 フィンランドにおけるサーミの教育の動向	66
第3節 2000年代におけるサーミの教育の経験者の推移	67
第4節 調査対象校と調査の概要	76
第5節 イナリ基礎学校教師の意識	78
第6節 保護者の意識	85
第7節 生徒の意識	94
第8節 調査のまとめ	98

第5章 サーミ教育専門学校（Sami Education Institute）の現状と役割	上山浩次郎
はじめに	103
第1節 フィンランドの職業教育訓練	103
第2節 サーミ教育専門学校の制度的特徴	105
第3節 サーミ教育専門学校の教員の生活と意識	109
第4節 サーミ教育専門学校の学生の生活と意識	116
おわりに	127
補 節 サーミ系学生におけるサーミ語とサーミ文化	129
第6章 フィンランドのサーミ・メディアの現状と利用状況	小内 純子
はじめに	137
第1節 活字メディアの歴史と現状	138
第2節 放送メディアの歴史と現状	139
第3節 サーミ・メディアの現状と課題	145
第4節 サーミ・メディアの利用状況と情報発信	145
おわりに —公共放送とサーミ・メディア—	153
Current Situation of the Sami in Finland (Abstract)	157